

【社会科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月	第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿(5時間) 第2章 日本の姿(4時間)	・地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置を理解し世界の地域構成を大観する。 ・地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、地域区分、我が国の領域の範囲や変化を理解し世界の地域構成を大観する。	・世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。 ・世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。	・国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。 ・世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	・地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。 ・世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・google earthを用いた地球儀の学習(電子黒板) ・NHK for schoolにより学習内容の動画視聴(電子黒板)
5月	第2部 世界の様々な地域 第1章 人々の生活と環境(9時間)	・世界各地の人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連づけてとらえ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。	・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	・世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・気候区分の地域についての調査とそのまとめ(一人1台端末)
6月	第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州(7時間)	・アジア州の地域を大観し、その上で多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	・アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	・急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・アジア州の地域的特色についての調査とそのまとめ(一人1台端末)
7月	第1章 歴史のとらえ方・調べ方(3時間) 第2章 原始・古代の日本と世界 第1節 人類の出現と文明のおこり(5時間)	・時代区分の方法や年代の表し方、人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことなど、共通する特色があることを理解する。	・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	・古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・古代における共通した特色の調査とそのまとめ(一人1台端末)

【社会科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9月	第2節 日本の成り立ちと倭の王権(4時間) 第3節 大帝国の出現と律令国家の形成(4時間)	・日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考え、日本では大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家のしくみが整えられたことを理解する。	・諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	・東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、農耕の広まりによる人々の生活の変化や、大和政権による統一と東アジアとの関わり、東アジアの動きが政治に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本列島での人々の生活の変化と、国家が形成されていく過程、7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・古代の日本を説明するための資料の調査とそのまとめ(一人1台端末)
10月	第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州(6時間) 第3節 アフリカ州(4時間) 第4節 北アメリカ州(4時間)	・ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州の地域を大観し、その上で地域統合、人々の暮らしとその変化、世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。	・ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州の地域的特色を自然環境、文化、産業、経済、農業、工業の特色に着目して大観し、共通性や多様性、文化や経済的な関係、農業や工業の変化を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	・国どうしや他地域との結び付き、輸出品の偏りなどに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響、輸出品の偏りによる問題などについて、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活、モノカルチャー経済、北アメリカ州の産業や文化に関心をもち、地域的特色及び文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州の地域的特色の調査とそのまとめ(一人1台端末)

【社会科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11月	第4節 南アメリカ州 (6時間) 第5節 オセアニア州 (5時間)	・南アメリカ州、オセアニア州の地域を大観し、その上で開発と環境、他地域との結びつきを主題として設定し、地域的特色を理解する。	・多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長やオセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。	・経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	・近年の経済成長や多文化社会に着目しながら、地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題、地域の新たな課題について主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・南アメリカ州、オセアニア州の地域的特色の調査とそのまとめ(一人1台端末)
12月	第4節 貴族社会の発展(5時間) 第3章 中世の日本と世界 第1節 武家政治の始まり(5時間)	・天皇や貴族の政治が展開され、武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配がしだいに全国に広まったこと、国際的な要素をもった文化、武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化が栄えたことを理解する。	・仏教の伝来とその影響、鎌倉幕府の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、国際的な要素をもった文化が栄え、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことを理解している。	・東アジアとの交流に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、都の貴族や地方の農民の暮らし、摂関政治と天平・国風文化の特色、武家政治の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際色豊かな文化から日本独自の文化が生み出されたことや武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・日本の文化の変化の調査とそのまとめ(一人1台端末)
1月	第2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化(5時間) 第3節 結びつく民衆と下剋上の社会(4時間)	・ユーラシア大陸に広がるモンゴル帝国(元)が成立し、東西の貿易や文化交流が盛んになったことや南北朝の争乱や室町幕府の成立、応仁の乱後の社会的な変動や戦国の動乱などによる、武家政治の展開について理解する。	・農業など諸産業の発達、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたこと、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	・農業や商工業の発達や東アジアにおける交流に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、民衆の成長が社会に与えた影響、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	・民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたこと、武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・武家政治の展開の調査とそのまとめ(一人1台端末)

【社会科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2月	第4章 近世の日本と世界 第1節 結びつく世界との出会い(5時間) 第2節 天下統一への歩み(4時間)	・ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったこと、全国の統一事業や朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。	・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、統一事業とその当時の対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。	・交易の広がりとその影響や統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の交易の広がりを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・中世社会と近世社会との違いの調査とそのまとめ(一人1台端末)
3月	第3節 幕藩体制の確立と鎖国(6時間)	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色を理解する。	・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。	・統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示(電子黒板) ・幕府の政治の特色の調査とそのまとめ(一人1台端末)

【社会科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月	第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 (12時間)	日本の地形や気候の特色、国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	・日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	・日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化や課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	・自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
5月	第1章 身近な地域の調査 (6時間) 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 (6時間)	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。	・地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。	・対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取り上げ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。	・対象地域の特色や課題を主体的に追究している。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
6月	第2節 中国・四国地方 (6時間)	中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。	・地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解している。	・中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
7月	第5章 日本の近代化と国際社会 1節 近代世界の確立とアジア (6時間)	欧米諸国が、市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。	・欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)

【社会科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9月	2節 開国と幕府政治の終わり(6時間) 3節 明治維新と立憲国家への歩み(6時間)	社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府や新政府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたこと、明治維新により近代国家の基礎が整えられて人々の生活の変化や立憲制の国家が成立したことを理解する。	・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、人々の生活が大きく変化したこと、近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したこと、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。	・幕府が対外政策を転換して開国したこと、明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡、明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
10月	4節 激動する東アジアと日清・日露戦争(6時間) 第3章 日本の諸地域 第3節 近畿地方(6時間) 第4節 中部地方(6時間)	条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 近畿地方、中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。	・日清・日露戦争、条約改正などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。 ・さまざまな資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全および、関連するほかの事象、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。	・議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組み、中部地方の三つの地域における異なる産業の発達・変化の背景について、原因と対策、効果の面などから多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際的な視野に立って、我が国の国際的な地位が向上したことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。 ・自然環境と歴史的景観からみた近畿地方、産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)

【社会科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11月	第5節 関東地方 (6時間) 第6節 東北地方 (6時間)	関東地方, 東北地方について, その地域的特色や地域の課題を理解する。	・地図や写真などから, 関東地方の自然環境や産業の特色, 東北地方の自然環境や文化などの特色, 産業の変化を読み取り, 地域的特色や人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題について理解している。	・関東地方に人口が集中する理由, 東北地方の人々の生活や文化, 産業の発達と, 自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか, 多面的・多角的に考察している。	・関東地方, 東北地方について, よりよい社会の実現を視野に, 自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究している。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
12月	第7節 北海道地方 (6時間) 第4部 地域の在り方 第1章 地域の在り方 (6時間)	・北海道地方について, その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・地域の実態や課題解決のための取組を調べ, 地域的な課題の解決に向けて考察, 構想したことを適切に説明, 議論しまとめる手法について理解する。	・北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し, 厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や, 自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。 ・解決に向けて考察・構想したことを適切に説明するとともに, 地域の実態や課題解決の取り組みについて理解している。	・冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を, 他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 ・地域の在り方を, 地域の結び付きや地域の変容, 持続可能性などに着目し, そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察・構想している。	・北海道地方について, よりよい社会の実現を視野に, 冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち, 主体的に追究しようとしている。 ・地域の発展や持続可能な社会を目指すために, これからの地域の在り方について関心をもち, 主体的に追究している。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)

【社会科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1月	5節 近代の産業と文化の発展 (4時間) 第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と民族独立の動き (6時間)	産業革命により日本で近代産業が発展したこと、それによる社会の変化、近代文化の形成、第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと第一次世界大戦前後の国際情勢、大戦後の国際平和への努力を、日本の動きと関わらせて理解する。	・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展、第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたこと、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	・近代化がもたらした文化への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響、第一次世界大戦による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展、第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)
2月	2節 大正デモクラシー (6時間) 3節 恐慌から戦争へ (6時間)	政党政治の確立や民主主義思想の普及、社会運動の高まり、昭和初期から第二次世界大戦の開戦までの日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民生活についてとらえ、大正時代に国民の政治的自覚が高まったこと、軍部の台頭から戦争までの経過を理解する。	・我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化、経済的世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期の我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、政党政治の展開や、社会運動の広まり、女性の社会的進出、大都市の発達や人々の生活様式や意識の変化、軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。	・経済の変化と政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、戦争による世界と我が国の社会の変化や影響、二度目の世界大戦に向かっていった理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・第一次世界大戦前後の日本の政治・社会・文化における変化、経済的世界的な混乱と各国への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)

【社会科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3月	4節 第二次世界大戦と日本の敗戦 (5時間)	第二次世界大戦の開戦から終結までの各国や日本の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 戦時下の国民生活, 第二次世界大戦後, 国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程についてとらえ, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことや冷戦の始まりや朝鮮戦争などの世界の動きの中で, 新しい日本の建設が進められたことを理解する。	・第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活, 冷戦, 我が国の民主化と再建の過程, 国際社会への復帰などを基に, 諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。	・世界の動きと我が国との関連, 戦後の展開と国際社会の変化などに着目して, 事象を相互に関連付けるなどして, 二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響, 諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて, 多面的・多角的に考察し, 表現している。	・第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き, 中国などアジア諸国との関係, 欧米諸国の動き, 戦時下の国民の生活, 国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・指導者用デジタル教科書等による課題提示 ・コラボノートを活用した協働学習 ・「ミライシード」での問題演習(家庭学習)

【社会科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	歴史的分野 第5章 日本の近代化と国際社会 ・4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 ・5節 近代の産業と文化の発展	・国内の社会状況や国際情勢との関わりなどの背景を踏まえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するために長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。 ・大陸との関係を踏まえて、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・日清・日露戦争での勝利や不平等条約などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	・日清・日露戦争が起こった理由を、世界の帝国主義の動きや日本の近代化との関わりから考察し、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際関係との関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・歴史的分野で取り扱う、地図・表・写真等の投影(電子黒板) ・データの共有(一人1台端末)
5	第6章 二度の世界大戦と日本 ・1節 第一次世界大戦と民族独立の動き ・2節 大正デモクラシー	・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて理解させる。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢や、大戦後に国際平和への努力されたことを日本の動きと関連づけて考えさせる。	・第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	・第一次世界大戦による世界と日本の社会の変化や影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	・よりよい社会の実現を視野に、当時の様子から見られる課題を主体的に追求しようとしている。	・歴史的分野で取り扱う、地図・表・写真等の投影(電子黒板) ・データの共有(一人1台端末)
6	第6章 二度の世界大戦と日本 ・3節 恐慌から戦争へ ・4節 第二次世界大戦と日本の敗戦	・軍部の台頭から戦争までの経過について理解させる。 ・現在起こっている、世界の紛争と関連づけて、戦争の歴史を踏まえて、平和について考えさせる。	・諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。	・事象を相互に関連付けるなどして、二度目の世界大戦に向かっていった理由について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・戦争に関する地域の資料を活用して、当時の様子から見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・戦争に関する資料(地図・表・写真等)の投影(電子黒板) ・データの共有(一人1台端末)
7	第7章 現代の日本と世界 ・1節 日本の民主化と冷戦 ・2節 世界の多極化と日本	・大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、考察し表現できる。	・第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。	・諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・戦後の社会の変化について、明治以降、中野における地域の変化の調査と発表(一人1台端末)

【社会科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9	第7章 現代の日本と世界 ・3節 冷戦の終結とこれからの日本	・現代の日本と世界を大観して、現代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちのとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって構想し、表現できる。	・冷戦の後の日本や国際社会を踏まえ、日本の経済や科学技術の発展において、国民生活が向上して、国際社会での日本の役割が大きくなったことを理解させる。	・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・よりよい社会の実現を視野に、当時の様子から見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・歴史の構想の場面における互いの意見の共有(一人1台端末)
	公民的分野 第1章「私たちの暮らしと現代社会」 ・情報化、少子高齢化、グローバル化・対立と合意、効率と公正	・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。	・地理・歴史の学びや身近な暮らしと関連付けながら現代社会の特徴を理解している。	・友達との意見交換を通して、現代社会の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会の特徴を捉えなおし、よりよい暮らしのあり方について、現代社会にみられる課題の解決を視野に、考察を深めようとしている。	・資料の提示(電子黒板) ・討議、意見の共有(一人1台端末)
10	第2章「個人を尊重する日本国憲法」 ・「日本国憲法の成り立ちと国民主権」 ・「憲法が保障する基本的人権」 ・「私たちと平和主義」	・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為について、個人の尊重や法の意義についての理解を深める。さらに北朝鮮の拉致被害「めぐみ」を教材に人権について考える。	・日本国憲法が、個人の尊重という価値観を基礎に成り立っていることを理解している。	・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・日本国憲法の条文を常に確認(一人1台端末) ・情報の共有(一人1台端末)
11	第3章「私たちの暮らしと民主政治」 ・「民主政治と日本の政治」 ・「三権分立のしくみと私たちの政治参加」 ・「地方自治と住民の参加」	・国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらしや、選挙が果たす役割を理解する。 ・地方自治の基本的な考え方やその政治のしくみを理解し、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を、自ら育てることができる。	・国会・内閣・裁判所がもつ三つの権利は、互いに均衡を保ちながら果たしている役割を理解している。	・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・中野区の課題を共有(一人1台端末) ・課題解決に向けた方針などを共有(一人1台端末)

【社会科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	第4章「私たちの暮らしと経済」 ・「消費生活と経済活動」 ・「企業の生産の仕組みと労働」	・流通のしくみについての理解を深め、身近な暮らしと経済活動とのつながりを考える。 ・現代の生産のしくみや、企業の果たす役割と責任、社会生活において働くことの意義や、働く人に保障された権利について理解する。	・経済活動の意義や流通のしくみ、現代の生産の仕組みや企業の果たす役割と責任について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・経済活動に関わる資料の提示(一人1台端末) ・現代社会に見られる課題解決案の共有(一人1台端末)
1	第4章「私たちの暮らしと経済」 ・「市場の仕組みとはたらき」 ・「金融の仕組みと財政の役割」	・市場のしくみと市場がもつ機能、市場経済の基本的な考え方、現代の金融機関のしくみやはたらきを理解する。 ・財政として国や地方自治体が果たしている役割や、租税の役割について考える。	・市場経済の基本的な考え方、現代の金融のしくみやはたらき、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・私たちが安心して豊かに暮らしていくために必要なこととはどのようなことか、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・株式市場の仕組みについての、東京証券取引所のサイトを活用した株式の調査とまとめ(一人1台端末)
2	第5章「私たちの暮らしと経済」 ・「暮らしを支える社会保障」 ・「これからの日本経済の課題」	・公害の防止など環境の保全についての問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、今後の日本経済が直面する課題をとらえ、どのように解決していけばよいのかについて、意欲的に追究する。	・日本経済のこれからのあり方や課題の解決に向けて考えを深めていくための知識を理解している。	・これまで私たちが受けてきた公的な支援を踏まえながら、これからの人生において、どのような支援を受けるのかを考察し、自分の言葉で表現している。	・国民生活に社会保障が果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・「税の作文」作成に活用した税金の種類をデータから確認(一人1台端末)
3	第6章「国際社会に生きる私たち」 ・「国際社会の平和をめぐって」 ・「国際社会が抱える課題と私たち」	・国際社会が抱えている課題をとらえ、「持続可能」な社会の実現に向けた取り組みが国際社会に求められていることに気づく。 ・国際社会に存在するさまざまな課題を学び、その解決に向けて自分なりに取り組んでいくことの意義について考える。	・国際社会において、国際協定の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力が大切であることを理解している。	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	・世界で起こる様々な課題についての情報収集とそのまとめ(一人1台端末)